

2015年11月20日
マレーシア政府観光局

報道関係者各位

ジョージタウンが 2016 年旅行先ベストシティ第 4 位！

ワールドランキングで振り返るマレーシア 2015 年

ロングステイ 1 位・英語能力調査 2 位

マレーシア政府観光局（東京支局：東京都千代田区、東京支局長：ノール・アズラン 及び 大阪支局：大阪府大阪市、大阪支局長：スハイミ・シャハリディン）は、2015 年度の観光プロモーションテーマである「イヤー・オブ・フェスティバル 2015」にちなんで、多民族国家のマレーシアならではの多様な文化的、宗教的お祭りや各種イベントについて焦点をあて、様々な観光プロモーションを行って参りました。そして本年度、以下の分野において世界的なランクイン、アワードを受賞したことをお知らせします。



（上段左から）コロニアル建築のペナン・シティホール、ブルーマンション、ウォールアート（下段左から）ペナン名物のアッサムラクサ、チャークイティアオ、ジャラン・ナゴレの街並み、ショップハウスに施された装飾

2016 年旅行先ベストシティでジョージタウンが第 4 位に

英国の世界的な旅行ガイド「ロンリープラネット」が発表した 2016 年旅行先ランキング、都市別部門においてマレーシアからはペナン州ジョージタウンが 4 位に選ばれました。1 位となったのはモンテネグロのコトル、2 位はエクアドルのキト、3 位はアイルランドのダブリンで、ジョージタウンは、オランダのロッテルダム（5 位）、インドのムンバイ（6 位）、豪州のフリーマントル（7 位）、英国のマンチェスター（8 位）、米国のナッシュビル（9 位）、イタリアのローマ（10 位）より上位にランクインされました。

世界遺産に認定されている旧市街ジョージタウンは、英国統治時代の面影を美しく残したコロニアル様式の建造物も多く見られます。ペナンは古くは 15 - 16 世紀、大陸から渡ってきた中国人と地元マレー人との融合文化であるプラナカン文化が色濃く根付いている街です。街の


至るところで見られる現代アートを取り入れたウォールアートなど、ここに来ると、街を歩きながら古いものと新しいものが融合した多様な文化とその歴史のルーツを知ることの楽しさを味わえます。

またペナンは、昨年、「ロンリープラネット」が選ぶ 2014 年の世界の美食スポットでも世界第 1 位に選ばれており、グルメの街としても定評があります。もともと 1786 年にペナンに貿易港が設立された後、マレーやインド、アチエ、中国、ビルマ、タイといった地域から到来した多くの文化の混合を反映したのがペナンの食べ物の特徴です。チャークイティアオ（平たいヌードルを使った炒めビーフン） やアッサムラクサ（魚の身がたっぷり入った酸味のあるスープが特徴の麺） など様々な名物料理が楽しめます。

9 年連続ロングステイ希望国第 1 位に

このたび、ロングステイ財団による「2014 年度ロングステイに関する意識調査」で、マレーシアが、ロングステイをしたい希望国の 1 位に 9 年連続で選ばれました。トップ 10 の順位は下記の通りです。

順位	国・地域名
1	マレーシア
2	タイ
3	ハワイ
4	オーストラリア
5	カナダ
6	ニュージーランド
7	シンガポール
8	アメリカ本土
9	フィリピン
10	インドネシア



マレーシアの安定的な人気の理由は、長期滞在受入れのための査証プログラム「マレーシア・マイ・セカンドホームプログラム（MM2H）」制度の充実、穏やかな国民性、日中の平均気温が 27-33 度（年間）という過ごしやすい気候、治安の良さ、物価の安さ、医療水準の高さ、英語が共通言語として通じること、食事も日本人の口に合うものが多いことも理由に挙げられます。

滞在者が日本国籍を保有している場合、観光・商用目的で 90 日以内の滞在はビザが不要。また、長期滞在の場合、最長 10 年（更新可能）の MM2H（マレーシア・マイ・セカンド・ホーム）のビザ取得が可能です。（*MM2H の詳細は参考資料参照。）海外のロングステイの人気の高まりの背景には、ライフスタイルが多様化し、人々の「生き方」に関する考えが柔軟になってきた ことがあります。働く国・地域、得た収入を運用する国・地域、趣味を楽しむ国・地域、子育てや病気療養・介護に適した国・地域等、個人のライフスタイルに合わせて国の壁を越え人生設計を考える時代（マルチハビテーション時代）を迎えており、今後ますます多様化が促進することが予測されます。

この 9 年連続第 1 位受賞を評価され、世界の観光業の展示会であるツーリズム EXPO ジャパン組織委員会が主催し、新設された「第 1 回ジャパン・ツーリズム・アワード」で、海外領域のプロモーション部門優秀賞を受賞しました。

英語能力調査 アジアで第 2 位/世界第 14 位

EF（エデュケーション・ファースト）によると、英語を母国語としない 54 カ国・地域の英語能力指数調査結果で、マレーシアはアジア圏で第 2 位を獲得しました。マレーシアは 60.30 ポイントで、前年より 0.53 ポイントアップしました。世界全体では 14 位にランクされ 5 段階評価では、上から 2 つ目の「高い」に分類されました。アジアのトップはシンガポール（世界 12 位）。3 位以下は▽インド（同 20 位）▽韓国（同 27 位）▽ベトナム（同 29 位）▽日本（同 30 位）▽インドネシア（同 32 位）▽台湾（同 31 位）▽香港（同 33 位）▽中国（同 47 位）▽タイ（同 62 位）となっています。

マレーシアは、アジアのゲートウェイ・シティとして近年注目を集めており、世界各国からインターナショナル・スクールに通う学生が増えています。アジア大交流時代に活躍できるグローバル人材育成に対する社会的ニーズの高まりを受け、教育旅行目的の渡航先としてもますます注目されていくことが予測されます。

参考資料

◆「ロングステイ」とは

海外ロングステイとは、「生活の主たる源泉を日本に置きながら海外の一箇所に比較的長く滞在し（2週間以上）その国の文化や生活に触れ、現地社会での貢献を通じて国際親善に寄与する海外滞在型余暇」を意味します。

◆一般財団法人ロングステイ財団とは

1992年に通商産業省（現：経済産業省）の認可を受け設立された公益法人。主たる業務はロングステイに関わる啓蒙・啓発、調査、研究、サービス・サポートを行っています。

URL: <http://www.longstay.or.jp/>

◆長期滞在ビザ 概要について

MM2H（マレーシア・マイ・セカンド・ホーム、通称エムエムツーエイチ）ビザとは、マレーシア政府によって推進されている長期滞在ビザです。年齢制限や宗教上の制限もなく、申請条件をクリアすればどなたでも取得できます。MM2Hを取得するとマレーシア政府より10年間の長期滞在が許可され、10年後以降の更新も可能です。

名称	マレーシア・マイ・セカンド・ホーム（MM2H）
期間	10年（更新可）
対象	マレーシアと国交のある国の国民
年齢	年齢制限なし
条件	50歳以上の場合 ●35万リンギット（約1,015万円）以上の金融資産（銀行預金、有価証券など）かつ、月1万リンギット（約29万円）以上の所得 ●マレーシアの銀行で15万リンギット（約435万円）の定期預金 50歳未満の場合 ●50万リンギット（約1,450万円）の金融資産と月1万リンギット（約29万円）以上の所得 ●マレーシアの銀行で30万リンギット（約870万円）以上の定期預金

★申請者は、配偶者、21歳未満の未婚の子供、60歳以上の申請者の両親を扶養家族として同行させることができます。

★1リンギット＝29円にて換算（2015年11月現在）

MM2Hビザについては、詳細は下記をご確認ください。

*マレーシア政府観光局 URL

http://www.tourismmalaysia.or.jp/long/long_5.html

*MM2HセンターURL

<http://mm2h.gov.my/index.php/en/>

マレーシア政府観光局について

マレーシア政府観光局は、マレーシアの観光文化省下に帰属し、あらゆるレベルでマレーシアの観光プロモーションを行うことに特化した政府機関です。当機関が設立された当初から、国際ツーリズムのシーンにおいて飛躍的な発展を遂げてきました。2014年、マレーシアは全世界から2,740万人の観光客、720億リンギット（約2兆3,760億円）の歳入、世界第10位の観光地としての人気を誇っています。「イヤー・オブ・フェスティバル2015」（略してマイフェス）を迎える2015年は、「エンドレス・セレブレーション」をテーマに多民族国家ならではの様々な文化に基づいたフェスティバルにフォーカスをあてて参ります。マレーシア政府は、2020年までの目標として、3,600万人の観光客と、1,680億リンギット（約5兆7,082億円）の歳入実現を掲げています。これは、経済変革プログラム（高所得を生み出す可能性の高い12の主要経済分野）（NKEA）のうち、マレーシア観光改革2020（MTTP）に組み込まれています。「観光」も上記12の主要経済分野に含まれていますが、中でも5つの出発点プロジェクト（Entry Points Projects = EPP）選定しています。EPPは、高い乗数効果によって速く大きな成果を生み出す可能性のある象徴的なプロジェクトのことを指し、手の届く贅沢品（ショッピング）、自然および冒険、家族向け娯楽、イベント、エンターテインメント、スパおよびスポーツ、ビジネス観光の5つのテーマごとにわかれています。

- マレーシア政府観光局公式サイト（日本語）
www.tourismmalaysia.or.jp/
- マレーシア政府観光局公式 Facebook
www.facebook.com/tourismmalaysia.japan
- 2014年マレーシア・トゥルーリー・アジア・プロモーションビデオ
<https://www.youtube.com/watch?v=8O7dx8n99Cs#t=14>
- 2015年イヤー・オブ・フェスティバル 公式テーマソング
http://myfest2015.com.my/download/LAGU%20MyFEST2015-07_Naga.mp3

プレスの方からのお問合せ先：キャンドルウィック株式会社 中尾・橋爪

Tel: 03-3498-2770 / Fax: 03-3498-2771 E-mail: press@candlewick.co.jp

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-6-4 Path OMOTESANDO C-3F